

ハンガリー： ヨーロッパのe-モビリティと バッテリー製造拠点

ハンガリー投資促進庁 (HIPA) 総裁
エーシク・ローベルト ÉSIK, Róbert



2019年の実績

ハンガリーは、120年前から自動車産業を継続的に構築し、中央東ヨーロッパ (CEE) 地域で最初にe-モビリティの概念を導入しました。今、ハンガリーは充電ステーションの可用性を高めるために直接および間接的なインセンティブを提供し、また、ヨーロッパで最大のEVバッテリー生産国のひとつになりつつあります。ハンガリーは、その専門知識、生産性、創造性、地理的有利性、競争力のある生産コストを活用し、ヨーロッパで最も魅力的な自動車投資場所のひとつに成長しました。世界トップ100社のTier 1 サプライヤーのうち40社以上が、ハンガリーにあります。現在ハンガリーで活動中の自動車企業は、国内事業を絶えず改善しています。企業はさらなる複合的プロセス、より高度な生産技術、研究開発 (R&D) 活動をハンガリーで導入しています。このような新技術は、「Made in Hungary」の時代から「Invented in Hungary」の時代への移行に大きく貢献しています。

投資元の国について振り返ると、2019年は日本を含むアジアの投資家の年だったといえます。合計19の東アジアの国からの投資があり、これは創出された雇用の38%に相当します。日本の投資家コミュニティは、5つのプロジェクトを通じてこれらの結果に大きく貢献し、ヨーロッパ外から3番目に大きな投資家として5億2600万ユーロ超を投資しました。

2019年の結果に基づいて特定できるもうひとつの傾向は、電気自動車のハンガリー自動車業界への普及です。サムスンSDI、SKイノベーション、GSユアサ、東レなどの電気自動車用バッテリーを製造する大企業は、ハンガリーに総額28億5000万ユーロの投資をしました。バッテリー製造プロジェクトは、昨年の投資額の合計60%でした。これらの投資には、電気ドライブトレインの製造能力の強化を目的としたアウディの電気化プロジェクト、電気ドライブシステムのためのシェフラーグループのグリーンフィールド投資、およびスマートモビリティを可能にする半導体ソリュー

ションへのインフィニオンによる投資が含まれます。

絶えず進化するインセンティブスキーム

ハンガリーの投資環境は徐々に魅力的なものになっています。9%の単一税率の法人所得税 (CIT) は、地域、ヨーロッパ、さらには世界レベルで画期的なステップとみなされてきました。過去数年間の社会貢献税率の漸減もまた、国の競争力向上を促進しており、ハンガリー政府は依然として労働に対する税負担の削減に取り組んでいます。

ハンガリー投資促進庁 (HIPA) の認定サプライヤーデータベースは、新規参入者や再投資家にも支援を提供し、自動車および電気機器の供給に従事する国内の中小企業 (SME) を推奨しています。2019年には、2800ものSMEが推奨されました。さらに、ネットワーキングB2Bイベントとサプライヤートレーニングセッションは、インテグレーターとサプライヤーが連絡を取るための別のプラットフォームになりました。

ハンガリーに大勢の投資家を惹きつけたもうひとつのツールは、最近大幅に改良された補助金制度です。雇用創出を伴う助成金フォームに加えて、研究・開発やトレーニングなど、新しいフォームが常にリストに追加されています。さらに、ハンガリーでより高い技術水準の投資を促進するために、変更された補助金制度の焦点は「生産性」に変わりました。雇用創出は、政府の特別な決定によって資産ベースの返金不可の現金補助金の前提条件ではなくなりました。現在、目標は雇用の維持と生産性の向上に設定されています。

投資家を支援する効果的なコロナウイルス対策

コロナウイルスのパンデミックが投資環境に与える影響を軽減するために、ハンガリー政府はGDPの約20%からなる経済回復プログラムを策定しました。このプログラムの一部は、企業の競争力を向上させるための新しい現金インセンティブシステムでした。欧州委員会の承認を得て、この新しい現金インセンティブ

ハンガリーの日本企業-お客様の声

マジャールスズキ株式会社
社長 阿部好伸氏

スズキは、環境に配慮した持続可能な自動車製造の取り組みの拡大に伴い、現在、ハイブリッド技術とハイブリッドモデルの開発に注力しています。ハイブリッド車のさまざまなバージョンは、より多くのお客様に好まれると私たちは考えています。独自の技術（SHVS、オールグリップ）の導入により、業界で唯一の最高のパフォーマンスを備えた手頃な価格の車をお客様に提供します。

スズキでは、製品とエンジンの開発は、常に消費者のニーズ、業界の課題、規制環境を理解することによって誘発されます。トレンドやニーズに照らして、マジャールスズキ株式会社の必要かつ可能な開発と拡大の方向性について、親会社と継続的に対話していきたいと思っています。

東レハンガリー
社長 村松弘一氏

東レは、グリーン社会をリードするヨーロッパで「グリーンイノベーション」事業を拡大することを目指しました。子会社ゾルテックの工場があることもあり、事業拡大の候補地としてハンガリーを選択しました。

調査の初期段階から、ハンガリー投資促進庁（HIPA）から正確で適切なアドバイスを受け、投資援助を積極的に提案し、さらに、候補地周辺の地域問題を解決するために関連する利害関係者と当局が関与する協力関係を構築しました。

ニェルゲシュウユファルの町では、用地購入の支援、都市計画の検討、工業道路の維持管理など、さまざまな実践的協力をし、私たちは町と素晴らしい関係を築き、今後も発展を続けます。

ブリヂストン・タタバニャ・マニュファクチャリング
マネージング・ディレクター
メリнда・トボルチク氏

私たちの10000平方メートルの倉庫は、ハンガリー政府の支援を受けて実装されています。倉庫は18万本のタイヤを保管することができ、最新のデジタル技術を採用しています。ただし、これはタタバニャの工場をスマートな工場に変えるプロセスのひとつのステップにすぎません。

現在、新工場の生産量の65%は、ブリヂストンの高生産性製造技術である「EXAMATION」によってすでに提供されています。半製品の製造、エネルギー供給、メンテナンス、生産監視、生産計画をカバーしています。

さらに、タタバニャ工場は、ブリヂストンがヨーロッパで2番目にスマートエネルギーシステムを導入した工場です。上記の理由により、同社は同じ従業員数で年間最大720万本のタイヤの増産が可能となり、使用エネルギーは10%減らすことができました。

システムの一環として、ハンガリー政府は150万ユーロを超える投資に対して返金不要の最大80万ユーロの費用を提供しました。

このプログラムの成功に続いて、政府は、ウイルスの拡散によって引き起こされた損害を最小限に抑えることを目的として採用された行政措置に、影響を受けた事業を補償する新しい事業計画を立てました。

さらに、コロナウイルスの影響で労働時間が15～75%短縮された労働者の手取り給与額の最大70%が政府によって補償されました。最大補償額は最低賃金の2倍の額です。また、研究・開発部門での解雇を回避するために、政府は、研究・開発技術者の額面給与の最大40%を補償すると発表しています。

ハンガリーにおける日本の存在

日本は、外国直接投資（FDI）に関して、ハンガリーで8番目に大きな投資家です。日本からのFDIは2018年に32億米ドルに達し、FDI全体の3.4%を占めています。

ハンガリー政府は、アルパイン、ブリヂストン、デンソー、イビデン、スズキ、東レの6社と戦略的提携契約を締結しました。アルパインハンガリーは、20年間、世界の高級自動車メーカーにインフォテインメントシステムを提供しており、ヨーロッパで最大の工場を所有しています。ハンガリーにはブリヂストンの最新の近

代的な生産ユニットのひとつがあり、その面積は10年以内に3倍になりました。同じくハンガリーにある最大のデンソーユニットは、完全に自動化された生産プロセスの結果として、750種類の製品を世界各地に届けています。イビデンはハンガリーに単一のヨーロッパユニットをもち、2005年からDPFフィルターと排気ランプを生産しています。乗用車は1991年からエステルゴムにあるスズキ生産ユニットから生産されており、5大陸123カ国に供給されています。東レのヨーロッパ拠点は、世界最大規模の炭素繊維工場のひとつです。売上の50%は再生可能グリーン風力エネルギーによるものであり、東レは最近、リチウムイオン電池用の4億800万ユーロの電池分離フィルム（BSF）製造工場の設置場所としてハンガリーを選びました。

お問い合わせ

JOI事業企画部
E-mail: bd@joi.or.jp、TEL: 03-5210-3311

ハンガリー投資促進庁（HIPA）
<https://hipa.hu/main>

駐日ハンガリー大使館
Kerekes András
E-mail: Andras.Kerekes@mfa.gov.hu
TEL: 03-5730-7120